

荒尾市地区協議会について (平成24年度～令和4年度)

令和5年
市民環境部 ぐらしいきいき課 作成

目 次

1. 地区協議会の概要について	3 ページ
2. 地区協議会の活動について	3～6 ページ
(1) 各地区協議会の主な活動一覧	
(2) 各地区代表イベント	
3. 行政支援について（人的支援・財政的支援）	6～7 ページ
4. 荒尾市協働のまちづくりの沿革について	7～8 ページ

1. 地区協議会の概要

(1) 設置目的

荒尾市協働の地域づくり推進条例第11条に基づき、「地域づくりに関し各地区を代表して市の認定を受け、市と対等なパートナーとして行政と協働して地域づくりを推進する団体」として位置づけられた団体で、今までの校区社教連に元気づくり会が加入或いは元気づくり事業を取り入れることにより、更に充実・発展した地区を代表する団体として設立。

(2) 役割

地区の代表組織として位置づけられることから、定例会等の開催により地区内の情報共有や連携強化を図るとともに、効果的に地区内事業が実施されるよう地域づくり交付金の配分調整を行う。また、地区と行政との調整役を担うことから、地区の総合窓口としての機能を有する。

(3) 団体概要

旧小学校単位（荒尾地区・万田地区・万田中央地区・井手川地区・中央地区・緑ヶ丘地区・平井地区・府本地区・八幡地区・有明地区・清里地区・桜山地区）で現在活動が実施されている。

2. 地区協議会活動について

各地区協議会で、定期的な情報交換（定例会等）や、防災・防犯に関する取り組み、区民の交流・親睦を深める催し、広報誌・イベントチラシの発行等、地域ならではの創意工夫による自主的かつ多様な活動が展開されている。

(1) 各地区協議会の主な活動一覧

地区名	主な活動
荒尾地区	校区レクレーション、文化祭、音と光の祭典、防犯活動 等
万田地区	荒尾駅前夕方市、グラウンドゴルフ大会、どんどや 等
万田中央地区	ミニ門松づくり、未来のお仕事塾、もぐらうち、どんどや 等
井手川地区	万田公園前花壇整備、認知症高齢者見守り訓練、防犯活動 等
中央地区	歩け歩け大会、ペタンク大会、中桜祭、文化講演会 等
緑ヶ丘地区	みどりまつり、シティモール七夕飾り、道路清掃 等
平井地区	岩本橋鯉のぼり祭り、ホテル観賞会、史跡探訪ウォーキング 等
府本地区	紅葉狩りウォーク、カライモ掘り大会、地区敬老会 等
八幡地区	やはたの祭り、子ども消防団、防災ウォーキング 等
有明地区	歩け歩け大会、海の美術館、親睦運動会 等
清里地区	健康ふれあい体育大会、玉ねぎ苗収穫・販売会、通学路清掃 等
桜山地区	年末防犯・防災パトロール、市民農園 等

(2) 各地区代表イベント

・荒尾地区協議会 ※元気づくり主催

○音と光の祭典

一小校区元気づくり委員会が主催する「音と光の祭典」は、荒尾の偉人である宮崎兄弟をしのびながら、竹灯籠の明かりの下、音楽などを楽しみ、地域交流を深める事業となっている。地元の小・中学生によるステージイベントや浴天マルシェも開催。



・万田地区協議会

○荒尾駅前夕方市

荒尾駅プロログ広場で、毎月第3土曜日に開催しており、荒尾駅を活用した地域の活性化を目的として、生鮮食品などの販売を行っている。



・万田中央地区協議会

○コンテナハウスの設置（平成30年度設置）

荒尾第三小学校が廃校になったことにより、世代を超えた繋がり希薄化を地域住民が感じている現状を改善することを目的として、荒尾第三小学校跡地にまちづくりの拠点施設「万田中央ふれあいハウス」を設置。

○未来のお仕事塾

万田中央地区協議会の部会の一つである「万なかの会」主催で、年に数回万田小学校の児童を対象とした未来のお仕事塾を開催。これまでに、警察官の方と一緒に指紋採取方法などを学び、地元企業との交流も深めている。



・井手川地区協議会

○防災デイキャンプ

井手川地区の食改善委員の方と一緒に防災食の調理習やペット連れの避難訓練の講義、防災士による車中泊、災害トイレの使い方など、地域住民の防災力向上を図る目的で実施。



・中央地区協議会 ※元気づくり主催

○中桜祭（ちゅうおうさい）

野外音楽堂周辺で、毎年桜の開花時期に合わせ開催されており、ステージイベントをはじめ、食品のバザー、抽選会など様々な催し物を実施。また、1週間ほど桜のライトアップも実施。



・緑ヶ丘地区協議会

○eスポーツ

オリンピックの正式種目としても検討されている「eスポーツ大会」を、子ども達の交流や思い出づくりを目的に令和4年度から開催。初年度は、緑ヶ丘校区の小・中学生16名が集まり、トーナメント方式で競い合った。



・平井地区協議会

○岩本橋鯉のぼり祭り

平井地区には、シンボルとして親しまれている「岩本橋」があり、この岩本橋をもっと多くの人に知ってもらうとともに、人々の出会い交流の場とするため、岩本橋周辺に鯉のぼり・矢幡を掲揚し、毎年5月に「岩本橋鯉のぼりまつり」を開催。



・府本地区協議会

○カライモ掘り大会

府本地区協議会の役員などで、二千平方メートルの遊休農地を活用して、種イモの準備から苗床づくり、苗の植え付け、定期的な除草などカライモ育成に取り組まれており、毎年9月にカライモ掘り大会を開催。荒尾市内の方はもちろん、市外の方にも味の良さが評判を呼び、毎年300名を超える方々に参加していただいている。



・八幡地区協議会

○防災ウォーキング

7月豪雨を契機に、区民の防災意識向上を図るため、近年開催。地区を毎年変えて、危険箇所を確認しながらウォーキングをして、公民館で○×クイズを実施しており、地域住民の親睦を深めるとともに、防災について学んでいる。



・有明地区協議会 ※元気づくり主催

○海の美術館

海の美術館は、アトリエ珍文館前の堤防を利用して「海と友達になろう」をテーマに、有明海の環境美化などを目的に平成17年度から開始。これまでに堤防には、約300枚の作品が飾られており、高校生や地元の中学生も毎年参加している。



・清里地区協議会

○玉ねぎ苗収穫・販売会

種から育てた苗は、地域住民向けに販売されており、毎年11月に玉ねぎ苗の販売会を実施している。手頃の価格で売られることから多くの方に喜ばれており、また、清里地区の遊休農地の活用にもつながっている。



・桜山地区協議会

○年末防犯・防災パトロール

地区の安心、安全な環境づくりを目的に年末の防災・防犯パトロールを実施。荒尾警察署生活安全課課長や桜山地区消防団長、地域住民の協力のもと、地区の見回り活動やのぼり旗設置などを通じて、地区の安全安心に努めている。



3. 行政支援について（人的支援・財政的支援）

（1）コミュニティ活動備品貸出（平成22年度～）

地区協議会のイベントなどで使用する音響機器やトランシーバー、イベント用ステージ、炊出し用品の貸出しを行っている。

（2）荒尾市地区協議会会長会の実施（平成24年度～）

地域の課題を総合的に捉え、その課題解決に取り組む地区協議会の活動の向上や連携・協力を深める」ことを目的に、各地区の代表者による会議（地区協議会会長会）を設置。会議では、各地区間の連携や意見収集並びに情報交換を行うとともに、地域と市、関係機関や団体との情報共有を行っている。

（3）地域づくり推進委員会の設置（平成24年度～）

「荒尾市協働の地域づくり推進条例」の実効性を高めるため、「荒尾市地域づくり推進委員会」を設置。荒尾市地域づくり推進委員会では、地区協議会の活動状況、協働の地域づくり交付金の適切な運用等の検証及び審議を行っている。



（4）荒尾市協働の地域づくり推進条例施行（平成24年度～）

この条例は、住みよい荒尾市を築くために大きな役割を担う地域づくりについて、基本理念を定め、市民と市の役割を明確にするとともに、地域づくりに関する市の支援等に関し必要な事項を定めることにより、安定的かつ継続的な地域づくりを推進することを目的に制定。

（5）協働の地域づくり交付金について（平成24年度～）

荒尾市協働の地域づくり推進条例第14条に基づき、地域の特性を活かすとともに、地域組織が機能的に活動できるよう、地区協議会に対する財政的支援を行っている。交付額は、面積割額、均等割額、人口割額・高齢化率等から算出している。

（6）協働のまちづくり職員研修の実施（平成25年度～）

本課で毎年、市職員を対象にした協働のまちづくりについての研修を実施。これまで、協働のまちづくりの必要性や地域づくりを推進するためのファシリテーション研修等を行っている。



(7) 荒尾市地区担当職員設置（令和元年度～）

荒尾市行政経営計画に基づき、地域の課題解決力を含めた地域のネットワーク強化や、地域と行政の連携・連絡体制の再構築、市職員の現場意識の醸成を目的に地区担当職員を設置。

担当職員は、地区協議会の会議等に参加しながら、地域の特性や課題を把握・整理し、地域との対話・協働による、地域課題の解決や地域特性を生かした事業提案や地域課題への取り組み方を整理する調整支援を行っている。

(8) 荒尾市地区別計画策定（令和2年度～令和7年度）

地域住民同士・地域と行政などで課題認識を共有し、役割分担のもと対策を検討することが重要であることから、荒尾市第6次総合計画の策定に合わせ、地域ごとの課題や特性、地域の目指す姿や取り組みの方向性などをまとめた地区別計画を令和2年度の策定。策定にあたっては、地区ごとに3回ずつワークショップを行い、地域住民が抱える困りごとを広く集約することで地域の課題を見つめ直すとともに、目指す姿やその実現に向けた取り組みなどについて地域住民同士で対話を行い、多様な意見を反映させたものとしている。



(9) 荒尾市地区協議会パンフレット作成（令和4年度）

地区協議会が発足して10年以上が経過し、地区協議会の活動等が分かるパンフレットをこれまで作成したことがなく、令和2年度に策定した地区別計画のワークショップの中でも、「地域住民に組織が認知されていない」、「地区協議会の活動をもっとPRするべき」など情報発信の課題が多く意見として挙げられた。

そのような状況を踏まえ、各地区協議会の事業の紹介や、役員のコメントなどを記載したパンフレットを作成し、市内公共施設（メディア交流館・みどり蒼生館・小袋工芸館・文化センター・図書館等）に配付。

4. 荒尾市協働のまちづくりの沿革について

◆ 取り組みの経緯

昭和30年	社会連絡協議会発足
平成15年	協働のまちづくり推進指針策定（元気づくり委員会設立）
平成16年	元気づくり事業開始 ・平井小校区（平井校区元気づくり委員会） ・二小校区（二小元気会） ・府本小校区（府本校区いきいき小袋会） ・有明小校区（有明元気づくり）
平成17年	元気づくり事業 ・一小校区（一小校区元気づくり委員会） ・三小校区（万田山いきいき町づくり会）
平成18年	元気づくり事業 ・八幡小校区（八幡元気づくり委員会） ・桜山小校区（桜山げんきかい）

平成19年	元気づくり事業 ・清里小校区（清里元気づくり会） ・中央小校区（よかまち中央会）
平成20年	元気づくり事業 ・旧四小校区（井手川元気づくり会）
平成23年	元気づくり事業 ・旧緑ヶ丘小校区（みどりが丘元気かい）
平成24年	荒尾市協働の地域づくり推進条例（地区協議会設立）
平成30年	地域活動拠点施設設置（万田中央コンテナハウス）
令和元年	荒尾市地区担当職員制度導入
令和2年	荒尾市地区別計画策定